

会議の名称 令和5年5月定例教育委員会
日 時 令和5年5月9日（火）
午前9時から午前10時52分まで
場 所 北庁舎2階 第5会議室

出席者

教育長	大澤孝明
委員	安藤京子
委員	細川修
委員	川上雅也
委員	宗絵美子
事務局	
教育部長	浦川正
教育部次長	川本保則
教育総務課長	貝沼圭子
教育総務課指導主事	山本武史
生涯学習課長	粕谷庸介
生涯学習課担当課長（事業、 施設担当）兼文化の家館長	生田創
中央図書館長	二之部香奈子
給食センター所長	古橋剛
みどりの推進課主幹 （平成こども塾担当）	青山均
教育総務課庶務教育係長	宇井正幸
教育総務課施設係長	岩崎大輔

傍聴者

0人

会議の公開・非公開

一部非公開

審議の概要

1 報告事項

- (1) 後援・推薦名義専決処分の報告
- (2) 教育委員会及び関係各課からの報告

2 報告事項【非公開】

就学援助認定者数報告

3 その他

議事録署名者

細川委員

議事録

教育長

令和5年5月定例教育委員会を始めます。

昨日、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行されたため、臨時校長会を開催しました。非常時から平時への大きな転換となるため、様々なことを議論しました。各課等においても、コロナ禍で工夫してきたことを継続しながら新しいことに挑戦してほしいと思います。

4月18日に尾張部都市教育長会議が開催され、県民の日学校ホリデー、ラーケーションが話題にあがりました。ラーケーションは、保護者の休み方改革につなげることを目的とし、保護者が子どもと一緒に校外で学習活動するもので、1年のうちに3日設定することができます。愛知県は、実施校については各自治体の判断によっていますが、本市は2学期以降に全校で実施したいと考えています。校外での学習活動となるため、欠席とせず出席停止の扱いとなります。働き方改革が様々な場面で考えられるようになり、学校現場でも重要な課題だと捉えています。

本日の議事録署名者は、細川委員です。

それでは、議題に沿って議事を進めます。

今回決定承認事項はありませんので、報告事項に移ります。後援・推薦名義専決処分の報告について教育総務課から説明をお願いします。

(資料1に沿って説明)

委員 後援名義を許可した事業について、事業完了後に参加者数などの事後報告はもらっていますか。

事務局 実績報告を提出してもらっています。

教育長 続いて教育委員会及び関係各課からの報告です。生涯学習課から説明をお願いします。

(資料2に沿って説明)

委員 先日、文化の家を訪れた際、勉強している人やその他の施設利用者も複数おり、コロナ禍前に戻りつつあるなと感じました。文化の家の事業には遠方からみえる人も多く、今後の企画に期待しています。

委員 郷土資料室で開催されていた特別展に行きましたが、来場者が少な

かったです。NHKの大河ドラマにスポットをあてた展示は場所が分かりづらく、会場のどこにあるのか探すような状況でした。建物自体が狭いため制限はあるかと思いますが、来場者の目に留まるような展示ができると良かったなと感じました。今後、古戦場公園に新しくできる施設は、資料の内容や展示方法などで様々な工夫がなされることを期待しています。

教育長
事務局
委員

今年度の古戦場桜まつりの来場者は、今までと比べて多いですか。
例年と同じくらいです。

杣ヶ池体育館の管理が指定管理者に変更となり、どのような変化があるのか心配していましたが、清掃を小まめにしていました。指定管理者に変わったためかと思っていましたが、先ほど清掃について利用者から苦情があり、市から指導したと報告があり納得しました。先日大雨が降り、杣ヶ池体育館の雨漏りが心配されましたが、雨漏りはしていませんでした。何か対策をしたのですか。

事務局
委員

特にしていません。

スポーツ協会が主催する大会で申込開始後すぐに定員となり、参加を断るようなことがありました。コロナ禍後で段々と以前のような状況に戻ってきているように感じます。先日卓球のTリーグに所属するプロのコーチを招き卓球教室を開催しましたが、参加者は目の色を変えて取り組んでいました。プロと関われる機会は大事なんだと改めて感じました。

委員

指定管理者制度に移行して、市の職員数はどのように変化しましたか。

事務局

正規職員は4人から3人となり、会計年度任用職員は4人から0人となりました。

委員

指定管理者の会社規模がどのくらい分かりませんが、対象施設が様々ありますので管理が行き届くのか心配です。

事務局

常時勤務している職員は少ないですが、指定管理者であるハマダスポーツ企画株式会社は、近隣市町の体育施設の指定管理を行った経験があります。この会社は、エリアフォローが特徴で、長久手市だけではなく地域全体で補足するような運営をしています。

委員

指定管理移行後に、地域の人から清掃に関する苦情を聞いたことがありましたが、本日の資料を見て、今後に期待したいと思います。今まではシルバー人材センターが管理しており経験もあったためきれいな状態が維持できたのだと思います。現在は清掃をしっかりと行っているとのことですが、清掃以外の業務もあり、職員の負担が大きくなりませんか心配です。

事務局

現在の職員だけでは手が足りないため、清掃を主業務とする職員を新たに募集する予定です。

委員 清掃を市民のボランティアと一緒にやることを企画することは難しいですか。

事務局 指定管理者とは定期的に意見交換していますので、アイデアを伝えて、できることを検討したいと思います。

委員 川の清掃などを、子どもから高齢者まで一緒になって楽しく行っている地域もあります。全て指定管理者に任せるのではなく、市で企画して、楽しい取組ができると良いと思います。

委員 スポーツ協会と指定管理者の意見交換の場は設けていますか。

事務局 設けていません。

委員 主に施設を利用しているスポーツ協会と意見交換できると、いろいろな企画ができるのではないかと思います。

教育長 続きまして、みどりの推進課から説明をお願いします。

(資料3に沿って説明)

委員 在宅就労や不登校にどのような対策を行うのか、プレーパークをどのように生かしていくのか、平成こども塾でも検討していただきたいです。現在は、メタバースが活用されていたり、学校に行けない子どもたちがフリースクールなら通える状況があるなど、常に世の中の状況を見て、変えていけるものは変えていくことが必要なのだと思います。

教育長 以前教育委員から提案のあったQRコードを活用したプログラムの申込方法についての検討状況はどのようなようですか。

事務局 まずは市ホームページの応募フォームを活用した申込みを、試行的に実施したいと考えています。

委員 民間事業者が実施している申込方法を参考にすると良いと思います。QRコードはとても便利なツールだと思います。

事務局 QRコードを活用した申込方法に変更した場合に必要な費用を調べて、導入できるのか検討したいと思います。

委員 事業後のアンケートもQRコードを活用すると事務の効率化も図られますので、ぜひ導入を検討していただきたいと思います。

事務局 令和5年4月定例教育委員会で、教育長から「平成こども塾」の名称変更に関する質問がありました。平成こども塾運営委員会で協議するにあたり、質問された趣旨を委員に説明する必要がありますので、お考えを教えてください。

教育長 元号が平成から令和に変わりましたが、現在も引き続いて施設名称の一部に「平成」を使用していることについて、どのような考えによるものか単に確認したかったためです。

教育長 続きまして、中央図書館から説明をお願いします。

(資料4に沿って説明)

委員 保育園に図書ボランティアを派遣する取組がとても素晴らしいと思います。本を集めて図書館で修理するのではなく、その場で保育士に修理の仕方や本の扱い方を教えるなどの情報提供を行い、図書ボランティアが本の修理をする取組がとても良いと思います。また、毎月延滞本の冊数を報告していただいていると思いますが、年々減っています。これも地道な声かけや手紙などの努力が実を結んだのだと思います。

委員 保育園での図書修理は、園児にも本を大切に扱おうとする意識づけができ、良い影響があると思います。延滞本が減っているのは、いろいろな場所で返却できるようになり、認知されてきたことも関係していると思います。本を返しにその場所に行くのも、その場所のことを知るきっかけとなってとても良いと思います。

教育長 続きまして、給食センターから説明をお願いします。

(資料5に沿って説明)

委員 保育園の献立表の上段に、「赤の仲間」・「緑の仲間」・「黄の仲間」という表記がありますが、どのようなことを表しているのか保護者には分かりづらいと思います。表記方法の検討をお願いしたいです。

委員 今月も野菜と魚が多く取り入れられており、とても良い献立となっています。特に汁物の工夫がされていると思います。汁物があると子どもたちもごはんを食べやすくなります。

委員 先日テレビ番組で、フリースクールとカフェを一体的に運営している取組が放映されました。「なんで学校に行かないのか」という声かけではなく、「おいしいものを食べにおいでよ」と食事に誘って、そこから心を開いてもらう取組に衝撃を受けました。生活の中心は食だと思いますので、引き続きおいしい給食の提供をお願いします。

教育長 続きまして、教育総務課から説明をお願いします。

(資料6に沿って説明)

委員 精神疾患のある人が増えてきており、もっと問題意識を持たないといけないと感じています。市内の学校でも夜遅くまで残っている教員が増えてきており心配です。教員はブラックだという印象を持たれ、人材が集まらなくなっています。ぜひ働き方改革を進めて、選ばれるような職種になってほしいと思います。

事務局 4月は年度当初ということもあり特に忙しい時期になります。引き続き事務の効率化など工夫して取り組んでいきたいと思っています。

教育長 教員の大きな負担になっているのは部活動です。なるべく早く地域移行が実現できるように取り組んでいきたいと思っています。

委員 部活動の地域移行については、どの程度検討が進んでいますか。

事務局 昨年度、部活動検討委員会を4回開催し協議を進めています。まずは休日の部活動から地域移行したいと考えており、どのようなスケジュールで進めていくのか、引き続き協議していきます。地域移行の一番の課題は受入先の確保ですが、民間業者、地域の団体、大学などにヒアリングしながら、地域移行の方法について検討しているところです。

委員 地域移行することによって、参加できない生徒がいるのではないかと心配な声も上がっています。地域の人にも部活動の地域移行についての説明が必要だと思います。

委員 部活動だけではなく、他の業務でも見直せるところがあると思います。例年通りでは何も変わりませんので、少しでも何か変えられると良いと思います。

委員 大学生は、日頃から1.5倍速などで動画を見ており、大学で講義する際、話すスピードを速くしてほしいと大学側から依頼があったことがありました。学校の授業でもスピードを速め、授業時間を短縮することができるのかもしれませんが。

教育長 他に御意見等なければ、これ以降の内容は非公開としてよろしいですか。

委員 (異議なし)

教育長 それでは、公開部分の教育委員会を終わります。